ネットワーク9 地域づくりの輪

山崎興野子供会
親子いっしょに初めての凧揚げ

小林明夫くん
（山崎興野・根岸小6年）

"ぐいぐい引っ張られる感じ"

お楽しみ会では、凧を揚げたり作ったりするのが、いちばんおもしろかった。骨組みを作るところは難しかったですね。今まで小さな凧しか揚げたことがありませんでした。大きな凧は、ぐいぐい引っ張られる感じがします。風もなかったので、走り過ぎて疲れました。

山崎興野子供会では八月十日、初めて凧揚げ大会を行いました。

これは、会の行事のお楽しみ会の中で行われたもので、前日から、子供三十九人と父兄二十五人が生活改善センターに泊まり込み、バーベキュー大会や花火大会なども楽しみました。

責任者の和久井和博さんは「親子のつながりを強めようと、去年から始めました。去年も凧は作ったんですが、時間がなくて揚げられなかった」と話します。

8月10日、中ノ口川堤防。風がないため大人も子供も必死

今年は二日前から準備を始め、白根小学校の和田清治先生と、魚町の神保昭男さんの指導を受けながら、高学年は、子供大凧合戦用と同じ大きさの「ミッキーマウス」。中学年は、これより小さい「鯛町」。低学年は「役者」の三枚を、作業を少しずつ分担して、みんなで作り上げました。「あっちの凧がいい」と泣き出す子供もいたようです。

当日は非常に暑く、あいにく風もなかったため、凧揚げではだいぶ苦労した様子です。凧が家の屋根に落ちるたびに、子供たちは「こわすなー」などとワイワイガヤガヤ。父兄たちも「町の人は五日間も揚げるんだから大変だろうな」と、相当疲れた表情でした。

心躍る時、子供の声は弾む。

「予算は全部肉にしようれ」「○○ちゃん、来忘れんなね。あ、電話してやろ？」実行委員会が中心になって準備を進め、皆で待ちに待った笹ヶ峰キャンプと火打登山。

「なんか知らないうちに女子の班の手伝いをしていた」男子。「約束の時間だし、炊事場の掃除始めよか」「おれ、生ゴミの始末する」「係の人、はんごう持ってきてくださーい」自分たちの炊事だけでなく、友達のために、みんなのために自分から動く子供の姿をたくさん見た。

次の日は早朝からの登山。日ごろの事を思う時、どうしてもがんばってほしいと願う子が班員に励まされながら登る。リュックを持ってやる子がいる。「隊長がいっちゃ先にバテたんよ」と言いながら後押ししてくる班。山で行き合う人との「こんにちは」もだんだん上手になってくる。「文句ピィーピィー言いながらもとうとう登れたのは、○○先生の励ましがあったからよ」という女子。子に負けじと登る父母。心響き合う人間関係が生まれる。子供同士、子供と先生と、子供と父母と…。

「現代っ子」現象面を捕らえれば心配なことはたくさんある。しかし、それらは生活の多様化、合理化の中で作られた姿なのだと思う。今こそ、語り合い、つくり合い、発見し合う……ともに生きることを学ぶ時間を大切にしていきたい。その中に、子供本来の姿がきっとあり、心の響き合う人間関係が育っていくだろうから。

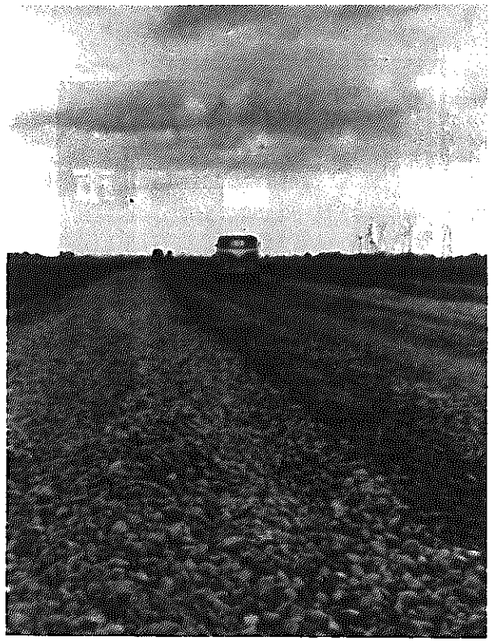
（大鵬中学校にお願いしました）

先生の見た現代っ子

心響き合う生活

写真と文とは関係ありません

じゃり道を馬車が行き交うのどかさ



語る人
平松富子さん
（古川・48歳）

私の思い出 昔のわが街

この地、白根に住むことになりまして、はや、三十年が過ぎ去ろうとしています。

振り返り、思い起こしますと、当時の白根には、まだ舗装されてない砂利道を馬車が行き交う、見るからにのどかな風景が残っていました。

そののどかな風景も、連日連夜、音もなく降り続く雪で、辺り一面白一色に塗りつぶされるありさまに、ただあぜんとなるばかりでした。

災害は忘れたころにと申しますが、忘れる間もなく次々と訪れる災害、風や水、地震と、自然の恐ろしさ、厳しさを、いやというほど体で感じ取りました。

こんなにたくさんの災害を体験するなど夢にも思わぬことでした。人間、苦境に立たされたその時こそ、人間本来の姿をかいま見ることができます。

現在は市内の道路ほとんどが舗装され、また近くを新幹線が走り抜けています。発展めざましいこの地を、興味深く見つめさせていただきたいと思っています。

未熟な私に試練の場となったこの地が、生涯忘れることのできない、思い出の街となりました。

国道8号線は、昭和三十九年一月に大野～白根間が、三月に田中～新飯田間が、じゃり道のまま開放されました。当時の広報白根は「鉄道に見放され伸び悩んでいる白根市にとって、国道の開通は明るいニュースで、東京～白根～新飯田を結ぶ新国道に期待します」と報じています

白根語辞典②

昭和四十三年、故福島定治氏（当時、市教育委員会 社会教育主事）編集「しろねのことば」から

あのなー あのね。根岸地方
あのねえ＝新飯田地方
あのの＝庄瀬・茨曽根地方
あんな＝臼井・大郷・鷲巻地方
あぶる 泳ぐ
あぶる 焼く
あべぇくさる 甘える
あま 二女以下、妹
あまごい 甘い
あめえ＝新飯田地方
あまんぎゃく あまがえる
あめる はげる
あろう 洗う
あんげ あのように、あんなに
あんげこと そんなこと
あんじょ なんにもならない女。臼井地方
あんにぁ 兄、長男
あんにぁさ＝根岸地方
あんにぁま＝白根・臼井地方
あんべ 違う。合わない。的はずれ
あんべ 病気
あんべえ＝茨曽根地方
あんべえが悪い ぐあいが悪い

い

いい 良い
いいてんきらね いい天気ですね
いいてんきらの＝新飯田地方
いえね そうでない。
いおわ よろしい。茨曽根地方
いごおね＝庄瀬地方
いよね＝全地域
いか 凧
いがわ 下水。白根地方
えんぞ
げす＝庄瀬・茨曽根地方
いぐ 行く
いごいも さといも
いさけ けんか
いさかい＝全地域
いさかえ＝新飯田地方
いさけえ＝新飯田・茨曽根地方
いしころ 石
いしっころ＝全地域
いじってみる さわってみる
いじる 触れる
いすぐ すすぐ
いちげん 始めて
いっけしょ 親類。白根・臼井・大郷・鷲巻・根岸地方
しんれ＝新飯田・茨曽根地方
いっしょうけんめいらね 一生懸命ですね
いっしょけんめいらの＝新飯田地方
いっちょ いちょう
いっちょめ 一人前